

☆クリスマス特集☆展示作品の中から25作品を紹介☆

分類	タイトル	作者
019.5-テ	サンタクロースを探し求めて	暉峻 淑子
193-メ	目で見る『聖書』の謎と神秘	
385.9-マ	ハートのやさしい伝え方	政岡 勢津子
386-ア	サンタクロースへの手紙	アートデイズ
386-ク	クリスマスおもしろ事典	刊行委員会
388-デ	妖精図鑑	ピエール・デュボア
D594.3-ヒ	広瀬光治のあみものの基礎	広瀬 光治
627.9-ホ	クリスマスから始めるフラワーアレンジメント	本田 恵子
Y726.6-ア	モミの木	H.C.アンデルセン
726-6-ト	エロイズのクリスマス	ケイ・トンプソン
755.3-ナ	アートクレイシルバーの贈り物	中村 るみ
759-イ	空間を彩るバルーンアートハンドブック	井波 恭子
767.1-ジ	唄おう！感じよう！THE GOSPEL	JAYE 公山
767.0-カ	クリスマス音楽ガイド	川端 純四郎
913.6-ク	クリスマス・ストーリーズ	大崎 善生 ほか
Y913.6-ソ	ぼくらのメリークリスマス	宗田 理
913.6-タ	その夜、ぼくは奇跡を祈った	田口 ランディ
913.6-ナ	クリスマスの朝に	長野 まゆみ
Y914.6-ヨ	プレゼントをあげる	吉野 朔実
931.7-ム	ジャズ詩大全 別巻	村尾 陸男
933-マ	クリスマスの魔術師	マーガレット・マーヒー
Y933.6-デ	クリスマス・キャロル	チャールズ・ディケンズ
933.7-エ	天使の首飾り	リチャード・イヴァンス
933.7-ギ	雪のひとひら	ポール・ギャリコ
933.7-マ	キリスト・コミッション	オグ・マンディーノ

紙面の都合上、全作品を紹介することができず残念です。

YAコーナーではさらに35作品ほど展示しています。  
貸出中の資料も多いかと思いますが、HPでは全作品  
リストを公開していますので、ぜひご覧ください。

<http://www.library.inagi.tokyo.jp>



稲城市立図書館

ヤングアダルト



# BOOK LIST

街はクリスマス一色のこの季節、みなさんはどんな冬をすごして  
ますか？ヤングアダルトコーナーでは、クリスマスにオススメの本を  
展示中です。クリスマス気分を盛り上げる音楽の本や、パーティに  
欠かせない料理の本、プレゼントを作るのに参考にしたいような本  
も集めました。クリスマスを題材にした小説もあります。

このブックリストでは、それらの本の中から特にオススメのものを  
紹介していますので、ぜひ手にとってみてください。

それではみなさん、楽しいクリスマスを！！

YAブックリスト 第2号  
発行 平成18年12月〇日  
稲城市立中央図書館  
稲城市向陽台4-6-18  
電話 042(378)7111



## 「ちいさなちいさな王様」アクセル・ハッケ(943-ハ)

作家のアクセル・ハッケはドイツの新聞記者。新聞記者と言うと真実を客観  
的に伝える仕事という印象がありますが、彼の作品はその仕事とは正反対  
で不思議な世界が展開します。「ちいさなちいさな王様」は、現実の世界と  
空想の世界が見事に結びついていて、いつの間にか引き込まれ、読んでい  
る自分にも「王様」が出てきてくれそうな気さえ起こります。王様の話はド  
イツ哲学の一端を感じさせますが、ミヒャエル・ソームヴァーの挿絵がホッとさせ  
てくれます。

## 「くつしたをかくせ！」乙一 (726.6-オ)

最近の作家さんは、一定のジャンルにこだわらず、さまざまな内容の作品を書かれることが多いようですが、乙一氏もその一人ですね。「黒乙一」「白乙一」などと作品が分けられたりしていますが、この作品は「白乙一」になるでしょうね。彼独特の不思議な世界は充分に出ていますが、クリスマスの本として取り上げてもダイジョウブ。挿絵もとてもきれいです。英文も併記されていますので、英語の勉強にもなるかも！



## 「手塚治虫の旧約聖書物語1・2・3」

手塚治虫製作総指揮(191.3-テ)

クリスマスはキリストの生誕を祝う日です。キリスト教に触れてみるのにもいい機会ではないでしょうか？その手始めとして、この本を紹介します。アニメですので、とてもわかりやすく、宗教についての知識がなくても読みやすいように書かれています。また、手塚治虫氏最後のアニメ作品とも言われていますから、宗教に興味がなくとも、手塚ファンであれば必読の3冊です。

## 「クリスマスの文化史」若林ひとみ (386-7)

毎年楽しみにしているクリスマス。クリスチャンだろうとなかろうと、日本人にとってもクリスマスはなくてはならない年中行事になっています。楽しむときは、楽しんだ者勝ち！それは確かにそうなのです。でも、そもそもサンタクロースって誰なのか？なんでクリスマスにはツリーを飾るのか？？などは意外と知らないですよ。この本で、少しだけクリスマスのことを知ったら、今年のクリスマスは少し違った気分で迎えられるかもしれません。クリスマスカラーの表紙や、本の初めにのっているオーナメントを眺めているだけでも、気分が盛り上がってきます。



## 「あるクリスマス」トルーマン・カポーティ (933-カ)

トルーマン・カポーティという作家を知っていますか？有名な作家なので読んだことのある人もいるかもしれませんが、これは、カポーティが父親と過ごす最後のクリスマスを描いた作品です。訳者は村上春樹、挿絵は山本容子と豪華な顔ぶれ。そういえば山本容子といえば、イルミネーションで、クリスマスの街を演出したこともありましたね。この本でも、あたたかくやわらかな色彩の版画が、カポーティの短編をさらに印象深いものにしてれています。

## 「名作に描かれたクリスマス」若林ひとみ(909-7)



このブックリストからもわかるように、クリスマスを描いた小説はたくさんあります。この本には、印象的なクリスマスシーンが出てくる名作50作品が取り上げられていて、本場のクリスマスや、クリスマスにまつわる歴史的エピソードを紹介してくれます。もちろん、このブックリストに載っていない名作もたくさん紹介されていますので、気になる作品が見つかったら、ぜひ原本にもチャレンジしてみてください。豊かな気持ちでクリスマスが迎えらるること、受けあいです★

CDにもクリスマスにオススメの作品がたくさんあります。

- ・「ブルーノットのX'MAS」オムニバス(C7CL-7)
- ・「アカペラ・クリスマス」ザ・マンハッタン・トランスファ(C7CL-マ)
- ・「クリスマス・トランス・ベスト」オムニバス(C7CH-サ)
- ・「クリスマス・アルバム」ウィーン少年合唱団(C7CQ-ク)

などなど…

クリスマス気分を盛り上げる1枚、  
視聴覚資料コーナーで探してみてください！

